

# 鹿児島県漁海況週報

平成24年9月6日発行(8月30日～9月5日)  
第2471報【旧暦：7月13日～7月19日/月齢12.5～18.5/潮汐：中潮～中潮】



鹿児島県水産技術開発センター  
〒891-0315 指宿市岩本字高田上160番10号  
TEL: 0993-27-9212, FAX: 0993-27-9218  
HP: <http://kagoshima.suigi.jp/>

## 【海況】

### ○黒潮北縁域(薩南～カラ群島海域)

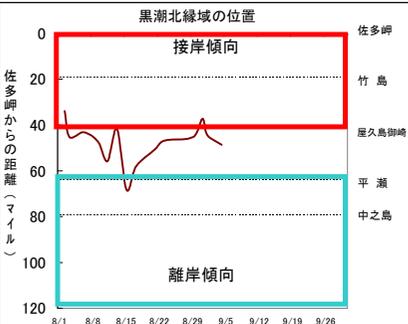
黒潮北縁域は、9月4日現在、屋久島御崎の南7.6マイル付近にある。

### ○黒潮流軸(種子島東)

種子島東の黒潮流軸は、9月4日現在、45マイル付近にある。

### ○定期船等による表面水温

各海域の表面水温は、先週と比較して、黒潮流域、竹島、屋久島御崎で0.1～0.2℃降温、その他の海域で0.1～0.6℃昇温した。  
 平年比較では、鹿児島、甌海峡で“やや高め”、佐多岬、竹島、与論で“平年並み”、黒潮流域で“かなり低め”、その他の海域で“やや低め”となった。



表面水温℃

定点名	実測値	先週比較	平年比較	評価
黒潮流域	28.2	-0.1	-0.7	かなり低め
鹿児島	28.3	+0.4	+0.9	やや高め
佐多岬	27.9	+0.1	+0.2	平年並
竹島	27.8	-0.2	-0.3	平年並
屋久島御崎	27.7	-0.1	-0.7	やや低め
中之島	27.9	+0.6	-0.6	やや低め
笠利崎	27.0	+0.2	-1.1	やや低め
与路島	27.6	-	-0.6	やや低め
与論	28.3	-	-0.1	平年並
甌海峡	28.1	+0.2	+0.7	やや高め

鹿児島～那覇定期客船観測は9/4～9/5  
串木野～甌定期客船観測は9/5

## 【漁況】

### ○定置網

甌島海域では、1日のみナダイ(1～1.5kg)が200kg、シマヅ(1kg)が7～8kgの入網。西薩南部海域では、多い日でコマサバ(300～400g)が1トン、マルソウダ(500g)が200～300kgの入網。鹿児島湾口部薩摩半島側では、1日のみカツオ(4kg)が100尾の入網。鹿児島湾口部大隅半島側では、週計でマルソウダ(300～500g)が4トン、カマスワラ(5～8kg)が26尾の入網。大隅半島東部海域では、週計で38統がカマス、マシ豆、チウオ主体に17トンの入網。志布志湾南部海域では、週計でチウオ、マシ、サハ類主体に6トンの入網。

### ○キビナゴ刺網

甌島海域では、2～8箱/隻・日の漁。種子島海域では2～3箱/隻・日の漁。

### ○トビウオロープ曳網

種子島海域では、中トビを25箱/統、小トビを30箱/統・日の漁。屋久島海域では、中トビを46～79箱/統・日、セトビを5～15箱/統・日の漁。

### ○ブリ飼付け

鹿児島湾口部薩摩半島側では、3～6kgサイズを2～12尾/統・日の漁。

(まき網、棒受網、カツオ竿釣の漁況は下記の記事に記載しています。)

### 業種別・漁港別水揚げ状況

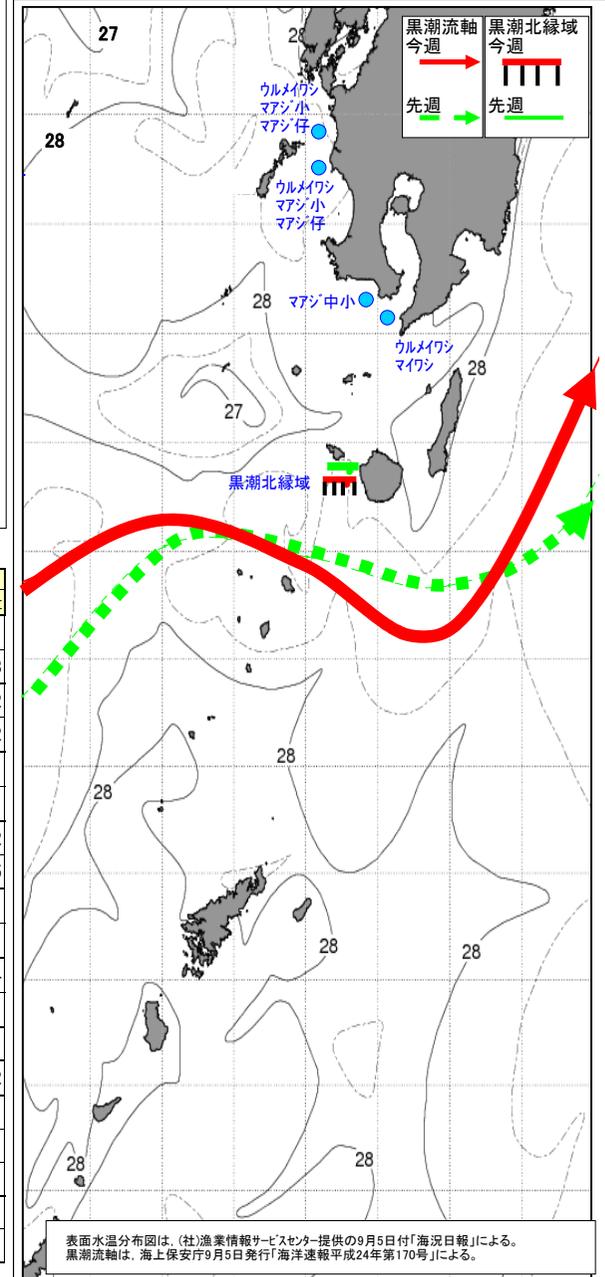
漁業種類	漁港	隻数	漁獲量(トン)	漁場	魚種組成(%)	※前年同期(第2471報)					
						1日1統	前週隻数	前週漁獲量	前年同期隻数	前年同期漁獲量	
旋網	阿久根	大	0	—		—	3	12	0	—	
		中	2	2	串木野沖 川内沖	ウルメイワシ48 マシ小25 マシ仔8	1.0	9	32	7	33
	枕崎	大	0	—			—	1	7	2	52
		中	3	40	立目崎沖 開聞沖	ウルメイワシ60 マイワシ15 マシ中小8	13.3	3	29	5	72
	内之浦	中	0	—			—	0	—	0	—
	山川	中	0	—			—	0	—	0	—
計	大	0	0			—	4	19	2	52	
	中	5	42			8.4	12	61	12	105	
東海旋網	阿久根	0	—			—	0	—	0	—	
	枕崎	0	—			—	0	—	0	—	
棒受網	阿久根	0	—			—	53	92	26	64	
	内之浦	1	2		ウルメイワシ100	1.6	0	—	0	—	
定置網	内之浦	38	17		カマス22 マシ豆21 チウオ11	0.4	28	14	38	21	
刺網	阿久根	大	0	—		—	0	—	0	—	
		小	0	—			—	0	—	0	—
カツオ竿釣・海外旋網	枕崎	海旋	1	800		カツオ中51 キハダ24 カツオ小20	800.3	1	99	0	—
		中	1	18		カツオ小81 キハダ18	18.3	0	—	0	—
	山川	海旋	0	—			—	3	1,022	0	—

### ○パシヨウカジキ情報

定置網では、西薩南部海域で20～40kgサイズが週計で4尾の入網。流し刺網では、鹿児島湾口部大隅半島側で20～27kgサイズが週計で4尾の漁。

### ○その他

西薩南部海域では、ごち網でチダイ(100g)を多い船で40～50kg/日の漁。一本釣りでカンパチ(800g～1kg)を多い船で20kg/日、カマスワラ(8～9kg)を多い船で4尾/隻の漁。延縄でトヨダイ(300～500g)を多い船で30～40kg/日の漁。鹿児島湾口部大隅半島側では、一本釣りでイサキ(300～400g)を20kg/隻・日の漁。たすくいでトビウオ(200～300g)を40～50kg/隻・日の漁。志布志湾海域では、底曳網でマイダイ(1～2kg)を40～50kg/隻・日、ハモ(500～600g)を20kg/隻・日の漁。熊毛海域では一本釣りでカンパチ(3～4kg)を12～13尾/隻・日、アオダイ(500g)を50～60kg/隻・日、キダイ(300g)を30～40kg/隻・日の漁。奄美南部海域では、延縄の3日操業でマイ(5～8kg)を400kg/隻、キンタイ(1kg)を150kg/隻、ムツ(5kg)を60kg/隻、ナンヨウキンメ(600g～1kg)を40kg/隻の漁。一本釣りの2～3日操業でチウオ(800g～2kg)を50～120尾/隻の漁。



表面水温分布図は、(社)漁業情報サービスセンター提供の9月5日付「海況日報」による。  
黒潮流軸は、海上保安庁9月5日発行「海洋通報平成24年170号」による。